

劇場への招待

びわ湖ホール 通信

美しさ保つ「秘密戦隊」

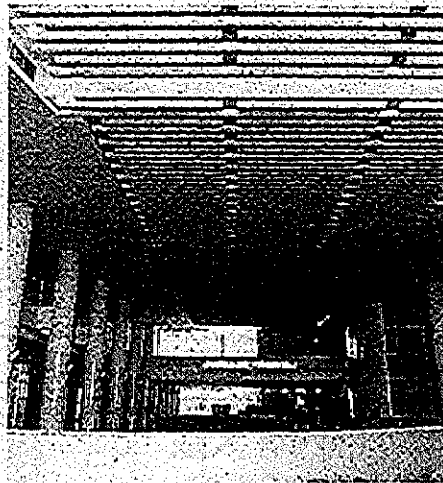
こんにちは。私はびわ湖ホールです。今日は私（ホール）にまつわる謎を一つお話ししますね。

「ウィーン」。観客のいなくなった深夜のホールの中にこだまする機械音とそれを操る人影。黙々とひたすらにじゅうたんの上を行き来する。あれは一体誰なのでしょう。

そうかと思えば、客席通路で、先ほどまでの余韻を回収し、残された跡を消し回る一団も。しなやかなその身のこなし、慣れた手つきで縦横無尽に座席と座席の間を飛び回る。任務が終われば、いつのまにかその場から秘密の通路へと一人また一人と去ってゆく。

彼らが去ったあとに残されているのは、磨き上げられた座席と通路、ちり一

ホールを支える人々



私は多くの人に支えられています。びわ湖ホールメインロビー

つないホワイエ。またある時は、水浸しとなった現場（大理石のロビーやトイレ）に参上し、あっと言う間に拭き上げて、何事もなかったかのように床は輝き

を取り戻す。彼らは私から与えられた使命を胸に秘め、人知れず、任務をいつも完遂しています。

私にはそんな「秘密戦隊」が存在するのを、皆さんはご存じでしょうか。そんな彼らの活躍で私は美しく保たれているのです。

このほかにも、私には第二、第三の秘密戦隊があるんです。先の彼らが美しさを保つ戦隊だとすれば、館内の冷暖房設備の保守管理や整備など、私の快適性や安全性を保つ別の戦隊もいます。

多くの頼もしい隊員たちによって私は守られています。私にとって彼らは、恋人のように24時間365日私のことを思ってくれている、切っても切れない存在なのです。（総務部管理課 藤澤勇）